

経営比較分析表（令和3年度決算）

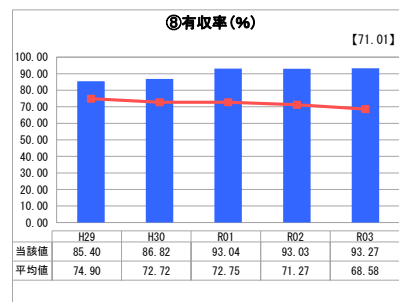
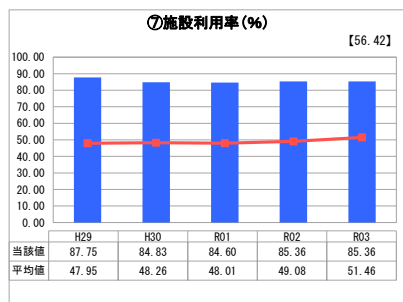
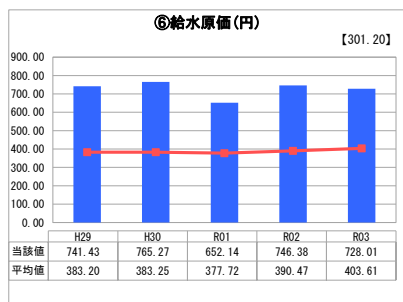
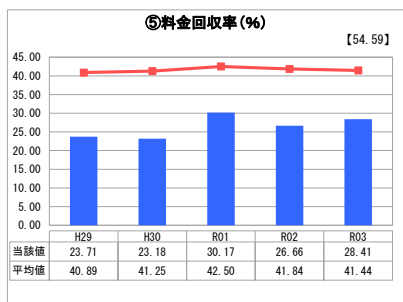
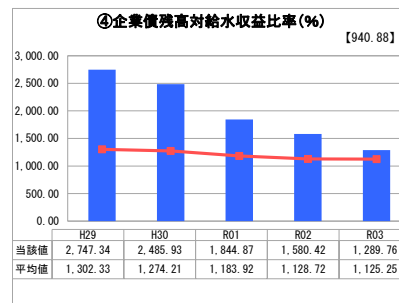
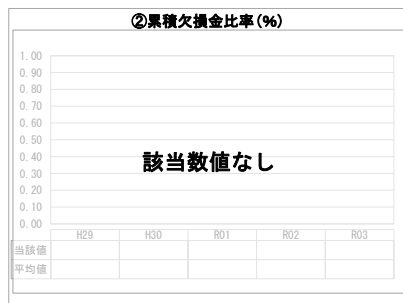
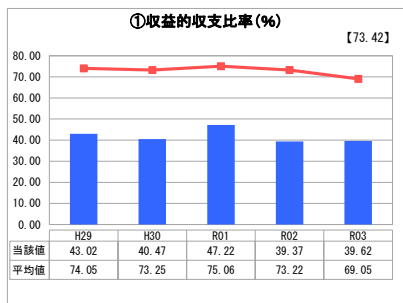
長野県 売木村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	該当数値なし	96.96	3,190	

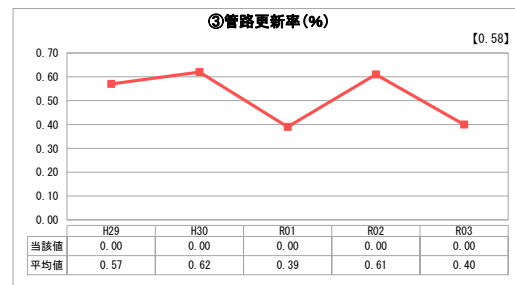
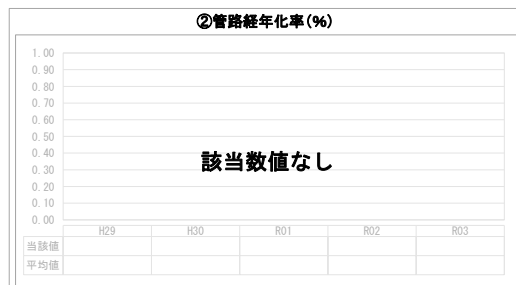
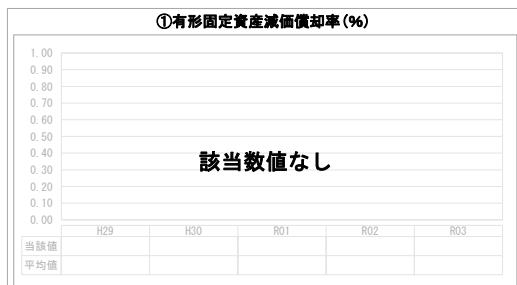
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
507	43.43	11.67
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
479	12.06	39.72

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について
令和3年度では、総収益で総費用（地方債還金含む）を約40%程度しか賄えていないため、単年度収支の黒字を目指し料金改定を行いたいです。

④企業債残高対給水収益比率について
平成29年度から企業債残高が減っており、大きな改修や工事がない限り安定した経営状態へ回復する見込みです。

⑤料金回収率(%)について
給水に係る費用が給水収益以外で賄われており、提出基準に定める事由以外の繰出金によって収入不足を補填しているため、料金収入で賄える経営体制を行っていきます。

⑥給水原価について
有収水量1m³あたりのコストが平均より大幅に高いため、小水力発電を行い施設の供給電力にあてるなど経営支出を抑えていきたいです。

⑦施設利用率(%)について
利用率が高く、遊休状態ではないことが好ましいですが、稼働時間が多く日々のメンテナンスや緊急時の水の確保を考慮した稼働状況を保持していきたいです。

⑧有収率(%)について
平均数値より高い値で維持し続けていけるよう、随時漏水点検をしていきます。

2. 老朽化の状況について

③管路について
建設から、約25年を経過し老朽化しています。早い段階で布設替えの計画を建て、財政に負担がないよう更新していきたいと思ひます。

・その他について
浄水施設については、薬注設備を随時更新しており、衛生面の向上に努めています。また、計装機器も毎年保守点検をして、劣化の早いものから事業の補助申請を行い、順次更新をしています。

全体総括

企業債の償還が進んでおり、会計負担が減ってきています。さらに料金改定を行い、黒字経営を目指し後に必要とされる施設改修費の確保を早い段階で取り組んでいきたいです。
また、令和6年4月から会計が法適用化に移行し独立採算制が基本になるため、令和5年度にしっかりと準備を行っていきます。